

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

ALL-MRD2002 療法[C]

疾患 白血病

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)
スケジュール

	day1	day8	day15
オンコビン(ビンクリスチン) 1.3 mg/m ² (最大 2 mg)	↓	↓	↓
メソトレキセート(メソトレキサート) 150 mg/m ²	↓	↓	↓
メソトレキセート(メソトレキサート) 1350 mg/m ²	→	→	→
ロイコボリン(ホリナート) 15 mg /回	↓↓...	↓↓...	↓↓...
<髄注>			
メソトレキセート(メソトレキサート) 15 mg	↓	↓	↓
デキサメタゾン注 3.3 mg	↓	↓	↓

- 【注意】 * 1日の尿量が3000mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
 * 補液にメイロンを混注して尿をアルカリ化(pH≧7.5)する。
 * ホリナートは、血中 MTX 濃度が 1x10⁻⁸ mol/L 未満になるまで6時間ごとに投与する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1, 8, 15

- ① 生食 500mL にて血管確保 維持(20mL/時間)
- ② 髄注 メソトレキセート 15 mg + 生食 3 mL + デキサメタゾン注 3.3 mg(1mL)
(全量 4mL とし、同量の脳脊髄液採取後、ゆっくり髄注する)
- ③ グラニセトロン注 3mg 1筒 ④施行前に静注
- ④ オンコビン + 生食 50 mL 点滴静注 5 分(600 mL/時間)
- ⑤ メソトレキセート + 生食 100 mL 点滴静注 30 分(④終了 1 時間後)
- ⑥ メソトレキセート + 生食 500 mL 24 時間持続静注(⑤終了後開始)

day 2~, 9~, 16~

- ① 生食 500mL にて血管確保 維持(20mL/時間)
- ② ロイコボリン 15mg 静注 メソトレキセート投与開始 36 時間後より開始する。
6 時間ごとに繰り返し静注する。
48、72 時間後に血中 MTX 濃度を測定する。

	day 1		day 8		day 15	
月日	/		/		/	
	髄注(MTX)	オンコビン	髄注(MTX)	オンコビン	髄注(MTX)	オンコビン
開始予定時間						
施行者署名						
		メソトレキセート		メソトレキセート		メソトレキセート
開始予定時間						
施行者署名						

	day 2	day 3				day 4				day 5			
月日	/	/				/				/			
	ロイコボリン												
開始予定時間													
施行者署名													

	day 9	day 10				day 11				day 12			
月日	/	/				/				/			
	ロイコボリン												
開始予定時間													
施行者署名													

	day 16	day 17				day 18				day 19			
月日	/	/				/				/			
	ロイコボリン												
開始予定時間													
施行者署名													